

丹波中学校だより



清流の辺

せい

りゅう

ほとり

2019. 10. 1

文責 丹波中校長 清水浩喜

実りの秋に向けて、一步前進を！

今日から10月が始まります。本年度も、いよいよ折り返しを迎えたということです。これまで、大きな事故も事件もなく、安全に安心して学校生活が送られてきていることを、心から嬉しく思います。また、生徒たちは、それぞれがしっかりと目標を立て、それに向かって一生懸命頑張っています。これまた最高にうれしいことです。



消費税10%、複雑な軽減税率への対応など、社会は、大きく変化していきます。そんな中で、変わらずにいたいことは、どんなことかと考えます。私は、生徒たちや先生方、保護者や地域のみなさんが、まずは健康であってほしいと思います。心身の健康は、どんなことをするにも不可欠です。季節の変わり目でもあります。どうぞ健康にお過ごしください。次に、人々が、つながりあって、豊かな生活を創造して欲しいと思います。人が、家庭が、学校が、村が、国が、認め合って助け合ってつながりあって、豊かになってほしいと思っています。そして、学校においても、生徒たちがつながりあって、切磋琢磨しあいながら成長して欲しいと思っています。そこには、失敗やら挫折やら、多くの苦難はありますが、人とのつながりは、その苦難をも乗り越える力を与えてくれます。「一步上の自分、一步上の丹波中」に向けて、つながりを大切にしながらさらなる努力を積み上げてまいります。今後とも、ご理解とご協力をお願いします。



★全国及び山梨県内において、季節外れのインフルエンザが流行しています。外出の際は、マスク着用を心掛け、うがい・手洗いの徹底で乗り切ってください。各ご家庭のご協力をお願いします。

10月	1日(火)	第1回教達検定
	2日(水)	第2回管理主事訪問
	3日(木)	体重測定
	4日(金)	中間テスト範囲配布 SC訪問日
	5日(土)	山梨県中学校学年別卓球大会：緑ヶ丘体育館にて
	6日(日)	村民運動会
	7日(月)	新人戦壮行会
	9日(水)	支部新人戦：大月市民体育館にて
	11日(金)	支部新人戦予備日
	15日(火)	きずなの日
	16日(水)	校内研 職員会議
	18日(金)	もみじ給食 中間試験 全音練習
	19日(土)	村内美化活動
	21日(月)	全音練習
	23日(水)	全音練習 校内学習会
	24日(木)	全校音楽
	25日(金)	第54回丹菅音楽祭
	30日(水)	丹菅統一授業研 きずなの日



《各種表彰者の紹介》

○上野原警察署管内防犯交通弁論大会 交通弁論の部

守屋純菜 優秀賞

「危険予測が明日を守る」

私は今、学園祭で発表する劇の練習をしています。私が演じるのは、交通事故に遭って命を落とす男の子、ハリー。彼は事故に遭った直後、こう言います。「あるときまでぼくの前にはなんだってできる人生が広がっていたのに、次の瞬間には死の世界しか見えない」……。私たちは、変わらない明日を、家族と、友人と、迎えることができるのでしょうか？そう考えたとき、私には思い出す出来事があります。

あの日私は、弟と2人で国道を歩いていました。私の住む村の歩道は、2人で横並びに歩くほど広くはありません。弟は歩道から出て、ふらふらと車道を歩いています。そんな弟を見ても私は、「車が来たら声をかければいいや」くらいにしか思っていないでいました。だって、普段は全然車が通らないのですから。

その時です。一台の白い車がものすごい勢いでこちらに向かってきました。「避けて！」私は弟の手をとっさに引っ張りました。弟がひかれる寸前だったので、サーっと血の気が引いていくのを感じました。弟の無事を確認した後も、しばらく全身の力が抜け、動けませんでした。茫然とする私を横目に、白い車は当然のように走り去り、弟もいつものように笑っています。いつものように……。？今の一瞬でその平和な「いつも」が消えてしまうかもしれないのに。

事故に遭うとき、「やっぱり事故が起こると思った」という当事者はいません。「まさか事故が起こるなんて思わなかった」……。事故はいつも、私たちの甘い予測を超えて、ふいに起こるのです。

では、こうした「自分に都合の良い甘い予測」をしないために、何が必要なのでしょう？

みなさんは、「ヒヤリハット」という言葉を知っていますか？これは、「結果として事故には至らなかったものの、事故に直結してもおかしくない一歩手前の事例」のことをいいます。重大な事故を防止するために、いくつかの自治体や学校では、「ヒヤリハットマップ」という、地域地図が作られているそうです。車通りの多い場所、見通しの悪い交差点……。多くの人々の「ヒヤリハット」の事例を集めて分析し、共有する仕組みです。事故を防止するには、「まさか事故は起こらないだろう」という考えを、「やっぱりここは事故が起きる場所なんだ」という考えに変えていくことが大切です。「ヒヤリハットマップ」を見て、事故の予測をしてみてください。そうすれば、「まさか」という甘い予測が生まれることはなくなるのです。

私たちは、明日がある、と思って生きています。でも、その考えは甘くありませんか？ハリーは言います。「じゅうぶん注意するんだ。だけど、それでも事故は起きてしまう。それが現実だ」。そんな明日を迎えないために、今日から意識を変えてみませんか？事故に「まさか」はありません。起こるべくして起こるのです。だからこそ、みなさんが地域の危険について知り、事故を予防することが必要なのです。自分の身に迫る危険を、見て、聞いて、予測してください。変わらず迎える、明日のために。

○第65回青少年読書感想文全国コンクール 中学校の部

課題図書 嶋崎美月 県入選「人類として戦争と戦う」

自由図書 守岡彩音 県特選「臆病者か、それとも英雄か」

○第72回北都留児童生徒理科自由研究発表会

優秀 鶴田知宏「食品によるカビの生え方」

優秀 平井ハンナ「どうして布に色はつくの」

優秀 小川姫美貴「ペットボトルを冷たい状態に保つ方法」



★さまざまな力を発揮する丹波中生、ここにあり！！